

平成 24 年度 事務事業事後評価調書（平成 23 年度事業）

整理番号 10 - 35

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	曙1号線配水管整備事業					
評価者	担当課名		建設水道課	担当係名		水道係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	佐竹邦夫		氏名	江田一夫
事業の概要	曙1号線沿いの住宅建設に伴い、生活用水確保のため水道管整備を実施するものです。					全体計画 /期間限定複数年度 (平成 20 年度～ 24 年度)
						国・道支出 千円
						地方債 千円
						その他 千円
						一般財源 6,000 千円
						事業費計 6,000 千円
実施方法	■直営		民間委託	その他 ( )		
第5期総合計画(前期)			■登載事業	非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	4	うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～			
	基本施策	17	上・下水道の整備			
	単位施策	1	水道の安定供給			
	事務事業の種類	■自治事務	法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	0 千円	0 千円	0 千円	5,670 千円	0 千円
	合計	千円	千円	千円	5,670 千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	市民、水道		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	水質・水圧・水量の確保。		配水管整備延長	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	生活用水の供給、確保を図る。		①配水管整備延長/配水管整備延長の実績	目標値及び実績値
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	清浄な水道水の安定供給。		②	目標年度 平成23年度 目標値 276 実績値 276 達成度 100.0 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)				
民間業者による工事の実施	入札により民間業者に工事発注し、配水管整備事業を実施した。			

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

<b>必要</b>	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	生活基盤の拡充を図るために、配水管を整備することは町が担う必要があります。
必要／概ね必要／課題あり	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

<b>有効</b>	設定した目標値の達成状況	配水管整備により水道水を安定的に供給することができた。
有効／概ね有効／課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

<b>効率的</b>	判断の理由	入札により事業費が軽減されたことは、効率的であると判断する。
効率的／概ね効率的／課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

<b>公平</b>	判断の理由	水の安定給水が図られたことから、公平であると判断する。
公平／概ね公平／公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益者が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

### 4 総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等

B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等

C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評議会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
目標どおり事業が達成された。		

<b>今後の展開方向</b> (Action)	<b>休止</b>
	残り配水管整備延長L=270mについては、住宅の建設状況により実施することとします。

\* 展開方向の区分  
 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更     終了     休止     廃止

### 5 その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）

--